

報告資料 1

公共交通の利便性確保に向けた検討課題について

- ・循環バス、デマンド交通について
- ・朝日バス等利用促進に向けて

2025年11月29日

中村 将之

意見の共有について

- 1 循環バスとデマンド交通について（交通空白地域への対応）
- 2 朝日バス等利用促進に向けて

1 循環バスとデマンド交通について（交通空白地域への対応）

循環バスとデマンド交通（交通空白地域の対応）について、今後の検討の参考として共有します。

（案）中央コースは、市内中心部でもバス停から半径200m（バス停から約300m）で内側をカバーすることができず、交通空白地域が発生してしまいます。

また、デマンドタクシー（幸手駅～杉戸高野台駅）廃止予定により、中央コース内側をカバーする路線がなくなります。

今回の（案）中央コースでは2台双方向運行により便利になるが、交通空白地域が広く、そこをデマンド交通2台でカバーします。

デマンド交通2度目の導入となる当市においては、廃止となった課題への対策が必要で、工夫しなければ市民の皆さんに利用していただけない。

どうすれば市民に喜ばれる公共交通になるのか？

中央コース2台導入を活かし、一部バス停を交通結節点とし、交通量の多い中央コース内にはデマンド交通の停留所を設けないなど、役割分担、相乗効果が必要だと思う。

中央コースだけ、A I デマンドだけで議論するのではなく、全体で検討していくことが必要だと考えます。

代替案：交通空白地域減少を目指して

（案）中央コースの「東武中央公園（緑台1丁目）」～「中央公民館・図書館入口」間を、幸手駅東口経由（東さくら通り～幸手駅～福祉会館～JA前）に変更し、ウェルス幸手に向かう。

なお、「中央公民館・図書館入口」バス停は廃止になるが「東1丁目」で代替可能と考える。

メリット：①地域公共交通会議で報告した内容と比べて軽微な変更。

②既存のバス停、デマンドタクシー停留所を活用している。

③中央コース内側の交通空白地域を小さくすることができる。

便 数：7便+（一部途中便運行。）

所要時間；右回り60分 左回り57分

幸手駅での調整時間を設け遅延吸収できるようになっています。

勤務体系：一部通勤通学時間をカバーするため、2台を時差で運用する。

①7:22～17:20 ②8:35～18:33

※一部バス時刻は、現在の東武鉄道(株)の幸手駅時刻に対応しています。

バス時刻：次ページの通り（案） ※一部途中時刻は省略

導入バス：補助金を活用。

例 トヨタ「イーパレット」（環境省 商用車等の電動化促進事業補助金の対象）



	1便	3便	5便	7便	9便	11便	13便	15便	17便	19便
幸手市役所	752		905	1020	1135	1335	1450	1605	1720	
幸手北モール	747		900							
荒宿交差点	746		858							
りそな銀行前	745		857							
中一丁目	743		855							
幸手駅東口	742		854	1009	1134	1324	1439	1555	1709	
	始発		851	1006	1131	1321	1436	1552	1706	
志手橋			849							
南一丁目			848							
エムズタウン			844							
ジョイフル本田			839							終点
幸手団地中央			837							1833
コモンシティ			836							1832
東埼玉総合病院			835							1831
(南キャンパス 入口)			833							1829
三ツ家			832							1828
(東武団地)			831							1827
緑台1丁目			830							1826
(大堰橋)			829							1825
東1丁目			828							1824
市役所入口			827							1823
(駅入口)			826							1822
幸手駅東口	終点	825	940	1105	1255	1410	1525	1640	1821	
	810	始発	937	1102	1252	1407	1522	1637	始発	
福祉会館		807								
(大村庵前)		806								
J A前		805								
(しまむら前)		804								
武道館		803								
(さくら小前)		802								
ウェルス		801								
ヤオコー		759								
東3丁目		758								
東4丁目		757								
オータニ前		756								
幸手市役所		753		920	1035	1235	1350	1505	1620	

※ () のバス停は、既存バス停から半径 200m で生じる交通空白地域を少しでもカバーすること及び
バス停間隔を短くしご高齢の方でも利用しやすいよう検討しました。

	2便	4便	6便	8便	10便	12便	14便	16便	18便
幸手市役所		835	950	1105	1305	1420	1535	1655	1810
幸手北モール		838							1813
荒宿交差点		839							1814
りそな銀行前		840							1815
中一丁目		842							1818
幸手駅東口		843	958	1113	1313	1428	1543	1703	1819
		846	1001	1116	1318	1431	1546	1706	終点
(駅入口)		847							
志手橋		848							
南一丁目		849							
エムズタウン		853							
ジョイフル本田	始発	858							
幸手団地中央	722	900							
コモンシティ	723	901							
東埼玉総合病院	725	902							
(南キャンパス 入口)	726	903							
三ツ家	727	904							
(東武団地)	728	905							
緑台1丁目	729	906							
(大堰橋)	730	907							
東1丁目	731	908							
市役所入口	732	909							
幸手駅東口	734	912	1027	1142	1342	1457	1612	1732	
	終点	915	1030	1145	1345	1500	1615	1735	
(駅入口)		916							
福祉会館		918							
(大村庵前)		919							
J A前		920							
(しまむら前)		921							
ヤオコー		922							
ウェルス		924							
(さくら小前)		925							
武道館		926							
東3丁目		927							
東4丁目		928							
オータニ前		929							
幸手市役所		932	1047	1202	1402	1517	1632	1752	

2 朝日バス等利用促進に向けて

「低い利用率が示す危機」

当市は車を利用する人が多く、公共交通の利用者数は少ない。特に朝日バス（幸手駅～五霞町役場線）の利用者数は、廃止になった朝日バス（幸手駅～杉戸高野台駅線）より低い。

（幸手市地域公共交通計画 P 17 参照）

県境を越える主要路線とはいえ、昨今の運転士不足、利用者数を考えるといつ廃止になつてもおかしくない危機的状況である。

当市にとつても市民や観光客の重要な足であると同時に、循環バスのフィーダー補助の対象である。

車がなくても市民が自由に移動できる社会のために、「どうすれば公共交通を利用してもらえるか？」という意識をもつていただけるよう課題を共有いたします。

朝日バス（幸手駅～五霞町役場線）の考えられる課題

（1）商業施設にバス停がない

幸手駅に東武ストアがあった時は、買い物を駅で済ませることができた。

しかし、ロードサイドに大型店が出店し東武ストアが閉店すると、ルート上に商業施設バス停がなく、買い物利用のお客様の取り込みができていない。（五霞町民の利用を含む）

（2）権現堂入口（権現堂）のバス停が、権現堂公園から離れている。

（3）五霞町「ごかりん号」に比べて駅への運賃が割高の他、幸手駅の利便性低下（始発列車の取りやめ、特急列車の通過）により、五霞町民の利用も少ないのでないのではないか。

朝日バス　幸手駅～五霞町役場　390円

ごかりん号　南栗橋駅～五霞町役場前　200円（均一料金）

（4）渋滞による定時運行率の低下

市内で渋滞が考えられる箇所

①駅入口～浅間横町間　五霞町役場ゆき　荒宿交差点の右折

　幸手駅ゆき　中一丁目交差点（ならいち付近）の久喜方面右折待ち

②権現堂入口～令和橋間　下吉羽幸手線の慢性的な混雑

（5）周知及び利用促進策の不足

①周知不足

乗り方、運賃、バス停の場所などわからないことが多い、「不便」「不安」があるのでないか。

②イベントにおける公共交通ご案内の不足

権現堂公園「ハロウィン」や北公民館などでイベントを実施しているが、車での来場案内が多く、公共交通での来場を呼び掛けていない。

例　北公民館　　「国際交流フェスティバル」会場案内図



利用促進に向けた取り組みについて

(1) 不安の解消にむけてー幸手駅構内に「バスご案内」の作成、掲示ー

北海道十勝バスが行った調査によると、バスを「不便」だけでなく、乗り方や運賃、路線が分からず「不安だから利用しない」という声もあることがわかりました。

不安を解消することで利用者の増加が見込めると考えます。

令和6年度の検討結果及び幸手市地域公共交通計画では、「案内の充実」として、デジタルサイネージや「公共交通のご案内冊子」の発行が想定されています。しかし、導入まで時間がかかることから、まずは2次交通の中心地である駅構内に路線図、運賃、時刻表等の情報を載せた「バスのご案内」の掲示をご提案致します。

(朝日バス2路線、循環バス、タクシーの共通案内)

○案内設置候補箇所



候補1：改札前柱

管理者の確認が必要

候補2：正面ギャラリー横

壁または市民の意見を募った時のような看板の設置

(2) お出掛け機会創出による利用促進ーイベント等と連携ー

イベントは、お出掛け機会創出に絶好のチャンスである。

朝日バス、循環バスルート付近で市の関連イベント実施の際には連携できるよう働きかけを行う。

①パンフレット作成の際には、公共交通での来場案内を載せて「周辺道路は混雑しますので、

できるだけ公共交通でご来場ください。」と利用協力を呼びかける。

②循環バスルート上では、土曜日開催の協力を依頼する。(日曜日は循環バス運休のため)

想定される関係者

- ・幸手市
- ・幸手市観光協会
- ・幸手市商工会

(3) もっと便利にルート変更による利便性向上ー

朝日バス（幸手駅～五霞町役場線）の利便性向上を目指し、現行ルート変更を検討する。

○「幸手北モール」バス停の追加※バスを日野「ポンチョ（中央コースと同じ）に変更する必要あり」

利便性向上、五霞町版ライドシェアの目的地の上位に「幸手市内商業施設」「むさしのメディカルクリニック」があることから、「幸手北モールバス停」追加を検討してはどうか。

(国道4号線～幸手北モール間は、循環バスとルート、バス停を同一とすることが想定されます。)

メリット

- ・買い物、通院利用による利用者増加と利便性向上
- ・朝日バスと循環バスの乗り換え利便性向上

懸念事項

- ・申請の面倒
- ・運行時間増大による本数への影響
- ・関係各所の理解
- ・運転士の負担と理解